

日本都市学会 64 回大会
大会プログラム

都市の復興モデルを探る

2017 年 10 月 27 日(金)・28 日(土)・29 日(日)

会場:石巻魚市場



【主催】日本都市学会、東北都市学会

【後援】石巻市、石巻専修大学

都市の復興モデルを探る

日本都市学会会長 堂前亮平
東北都市学会前会長 増田 聡
東北都市学会会長 松村 茂

2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震は、マグニチュード 9 の激震と多数の余震、直後の津波、さらには原子力災害を引き起こし、東北地方の太平洋沿岸地域を中心に未曾有の大被害、つまり、東日本大震災をもたらした。中でも石巻市は、中心市街地から半島部まで高さ 7~8m 近い津波が押し寄せ、中心市街地の約半数、市域平野部の約 3 割が浸水して市内住家の 8 割弱が被災し、死者・行方不明者が 3,500 人を越えるという多くの犠牲と被害を被った。被災前の石巻市は、周辺自治体との合併を経て人口は 16 万人を越え、仙台市以北の被災地では最大規模の都市集積を持つ全国でも有数の水産都市であった。他方、半島部には旧町（桃生・河南・河北・北上・雄勝・牡鹿町）の中心地と多くの漁村集落が点在していた。

発災後の緊急対応として道路啓開やがれき処理、避難所の開設・運営や応急仮設住宅の建設と被災者の生活支援を進める一方で、「最大の被災都市から世界の復興モデル都市を目指して」石巻市震災復興基本計画（2011.12）は策定された。市内各所で様々な復旧・復興事業が展開される中で、防潮堤建設・仙石線再整備等のインフラ復旧・復興、防災集団移転事業や区画整理事業等の市街地整備、復興公営住宅や公共施設の建設や再開発事業等を巡っては、土木・建築・都市計画の領域で、様々な試行錯誤を伴う実践が進められている。また、水産業・水産加工業、製紙業・造船業、流通業、建設業・運輸業等の産業再生においても、二重ローン対策・グループ補助金・仮設店舗提供等が行われ、その政策効果や企業経営の実態に関する経済学・経営学的関心が高まっている。さらに、人口移動や企業立地・撤退、病院・福祉施設・学校を含む生活関連サービスの提供と施設再編の地理学的研究や、被災コミュニティの社会学・心理学的研究も進みつつある。

日本都市学会構成員には、これまでの調査研究や政策提言、地域支援・アウトリーチ活動の成果を踏まえて、東日本大震災の被災地研究や復興支援を開始したメンバーも多く、発災後半年での第 58 回全国大会は「震災と持続可能な都市づくり」をテーマに福島市で開催された。また、特に被災地に近く日常的なかかわりも深い東北都市学会員の多くは、現在でも現地調査や復興支援を継続しており、2012 年度地域大会は、震災直後から多くのボランティア団体が集結し、様々な復旧・復興支援活動の拠点となった石巻専修大学を会場に開催した。このような活動の展開や組織化は、後に「石巻モデル」とも呼ばれたが、2012 年度大会では、その活動内容、今後の課題などについて、エクスカッションや公開シンポジウム「復興とボランティア活動」を通じて議論を進めた。

2017 年度の日本都市学会第 64 回大会は、東日本大震災の津波で全壊したものの 2015 年 9 月に再建・運用開始となった石巻魚市場を会場に、水産業再生のシンボルともいえる場に身を置きながら、さらには市内各所で復興実態を確認しながら、より多面的・複合的視点から震災復興の諸課題を検証・検討する機会としたい。検討に当たっては、国県市の政府間関係や住民意識の変容下での政策選択、個人・法人間の復興格差、復興政策の実施と意図せざる帰結等についても議論できればと思う。また、東北都市学会における唯一の支部として長年活動してきた石巻支部は、数ヶ月毎に支部会を現地開催し、市内外の産官学民セクターからの参加者を得て様々な情報・意見交換を図ってきた。東日本大震災後は、

地域産業の再生やインフラ復旧、都市再生、被災者の生活再建なども、支部会でしばしば論じられてきた話題である。このような支部活動を基礎に、大会運営の企画・立案・実行は進められており、地域での学会活動のモデルとも言えよう。



日本都市学会第 64 回大会 全体プログラム

10 月 27 日(金)

14:00～ エクスカーション 「AR 技術を用いて被災地を知る」

石巻市では、全国でもめずしい AR (Augmented Reality: 拡張現実) 技術を用いた防災教育の取り組みが行われている。これは、独自に開発されたアプリをインストールしたスマートフォンやタブレット端末の画面をとおして、石巻市の現在の景色の上に、震災直後の景色を重ねることが出来るというものである。自分がいる場所の津波の高さを視覚的に見ることも出来る。エクスカーションでは、このアプリを開発した「みらいサポート石巻」と、深刻な津波被害を受けた旧雄勝町地域でアプリを活用した活動を行っている「雄勝花物語」の両団体の案内のもと、アプリを活用しながら被災地の「いま」と「あの時」を往來する。

※ アプリは各自でインストールしてきて下さい。スマートフォンやタブレットがなくてもご参加いただけますが、お持ちでない場合はアプリの機能はご利用いただけません。

※ 各コース定員 20 名。定員を超えた場合は申込順とします。

□グループ 1 (街中通常コース) ※徒歩で移動します

予 定 時 間 : 2 時間程度

おもな見学先: 石巻市中心市街

集 合 場 所 : 震災伝承スペース「つなぐ館」

(http://ishinomaki-support.com/spot/learning_space)

➤ 参加費 1500 円を申し受けます (資料代含む)

□グループ 2 (街中健脚コース) ※徒歩で移動します

予 定 時 間 : 2 時間半程度

おもな見学先: 通常コースのあと日和山まで足をのびします

集 合 場 所 : 震災伝承スペース「つなぐ館」

(http://ishinomaki-support.com/spot/learning_space)

➤ 参加費 1500 円を申し受けます (資料代含む)

□グループ 3 (旧雄勝町コース) ※マイクロバスと徒歩で移動します

予 定 時 間 : 3 時間半程度 (移動時間 1 時間半)

おもな見学先: 旧雄勝町地域

集 合 場 所 : 石巻駅から県道 6 号線を直進 (徒歩 2 分)、和食料理店「大もり屋」前

※ 9 ページの地図参照

➤ 参加費 2500 円を申し受けます (バス利用代・資料代含む)

18:00～ 理事会 会場: 石巻グランドホテル 2F 鳳凰

10 月 28 日(土)

会場: 石巻魚市場

6:00～ 魚市場見学 (開始時間が変更になっておりますのでご注意ください)

8:30～ 受付開始 石巻魚市場 2 階

参加費: 2,500 円

懇親会費: 6,000 円

9:00～ 研究発表 I

12:00～ 昼休み

13:00～ シンポジウム 「石巻市の復興 ―7 年目の検証―」

13:00 開会挨拶 日本都市学会会長 堂前 亮平 氏

13:10 基調講演 石巻市長 亀山 紘 氏

13:50 パネルディスカッション

パネリスト: 石巻市長

亀山 紘 氏

石巻魚市場株式会社

須能 邦雄 氏

株式会社三陸河北新報社

古関 良行 氏

一般社団法人 ISHINOMAKI 2.0

松村 豪太 氏

石巻専修大学

佐々木 万亀夫 氏

コーディネーター: 東北都市学会会長

松村 茂 氏

16:45～ 日本都市学会賞授賞式

17:15～ 日本都市学会総会

18:00～ 懇親会 (会場: 石巻魚市場)

20:00 終了

※ 懇親会の会場は総会の会場がある建物に隣接した敷地内になりますので、総会が終了したあと速やかに移動して開始します。

10 月 29 日(日)

9:00～ 研究発表 II

※東北都市学会会員は、午後から理事会および会員会があります。

13:00～13:40 理事会

13:50～14:30 会員会

日本都市学会第 64 回大会 研究発表プログラム

10 月 28 日(土) 研究発表 I

<第一会場> 都市の復興モデル／大会テーマ (9:00～12:00)

- 1101 産業都市の復興モデル ―東日本大震災後のグループ補助金制度の導入を事例に―
増田聡 (東北大学大学院)
- 1102 震災復興地域における公共交通移動サービス水準の維持方策
谷貝等 (計量計画研究所)
- 1103 東日本大震災の被災地における災害ボランティアセンターの取り組み
福島忍 (目白大学)
- 1104 事前復興まちづくりとしての住宅の高台移転の取り組み実態
池添純子 (阿南高専)、森傑 (北海道大学)、野村理恵 (北海道大学)
- 1105 質的縦断調査と質問紙調査からみる東日本大震災後の住宅再建判断
―岩手県釜石市 A 町内会員を対象に―
西野淑美 (東洋大学)、石倉義博 (早稲田大学)、平井太郎 (弘前大学)、
秋田典子 (千葉大学)、荒木笙子 (千葉大学)、永井暁子 (日本女子大学)
- 1106 福島県内各地区の集積と震災復興
―平成 27 年国勢調査結果と最新の小地域データを用いた分析―
米本清 (高崎経済大学)
- 1107 大槌町災害復興公営住宅入居者調査報告 (1)
―住宅再建後の生活課題に関する考察―
野坂真 (早稲田大学)、浅川達人 (明治学院大学)、麦倉哲 (岩手大学)
- 1108 大槌町災害復興公営住宅入居者調査報告 (2) ―食品接種多様性調査による分析―
浅川達人 (明治学院大学)、野坂真 (早稲田大学)、麦倉哲 (岩手大学)
- 1109 大槌町災害復興公営住宅入居者調査報告 (3) ―WHO-5 調査による分析―
麦倉哲 (岩手大学)、浅川達人 (明治学院大学)、野坂真 (早稲田大学)

<第二会場> コミュニティ・場所 (9:00～12:00)

- 1201 郊外住宅団地における低未利用地所有者の土地利活用の意向に関する調査研究
―福岡県宗像市を対象として―
吉田智洋 (九州工業大学大学院)、吉武哲信 (九州工業大学大学院)、
寺町賢一 (九州工業大学大学院)
- 1202 再都市化時代におけるドイツ住宅政策の可能性 ―公的介入の再編と挑戦―
大場茂明 (大阪市立大学)
- 1203 浜松市天竜区の生活拠点集落の持続可能性
西原純 (日本都市学会)
- 1204 地方都市郊外住宅地における空き家と住宅地の変化 ―栃木県宇都宮市を事例に―
西山弘泰 (宇都宮共和大学)
- 1205 ポスト成長社会における都市の持続可能な活性化の方向
―自都市中心のネットワーク形成―
日野正輝 (中国学園大学)

- 1206 町内会とコミュニティ ―東京・蔵前M町会の事例―
佐久間美穂（川村学園女子大学）、内藤辰美（日本都市学会）
- 1207 高齢化する郊外住宅地における施設の変化
由井義通（広島大学）
- 1208 地位社会再構築に向けた「周辺」の正統化 ―地方創生をめぐる知識生産の転換Ⅱ―
平井太郎（弘前大学）
- 1209 インドネシア首都圏の拡大プロセス
大井慈郎（岩手保健医療大学）

<第三会場> 観光・地域資源活用（9：00～12：00）

- 1301 森林資源を活用した地域振興
大和里美（奈良県立大学）
- 1302 歴史的建造物の観光利用による地方創生
杉本直子（京都府立大学）、佐々木一彰（京都府立大学）
- 1303 景観資源としての伝統工芸についての考察 ―陶磁器産地の景観計画を事例として―
日高圭一郎（九州産業大学）
- 1304 アニメ作品のロケ地によるアニメコンテンツの活用に関する一考察
―茨城県大洗町と千葉県鴨川市を事例として―
大谷尚之（愛媛大学）
- 1305 観光地の住民と観光客の利用に関して
―A. シュッツの生活世界の構造を視点として―
中鉢令兒（北海商科大学）
- 1306 世界遺産登録と地域創造型観光 ―クリエイティブ産業の視点から―
村田和繁（京都市役所）
- 1307 ストック活用型社会への展望 ―京町家流通の拡大に着目して―
大島祥子（一級建築士事務所スーク創生事務所）
- 1308 近畿圏2府2県における生産緑地の地域的差異
石原肇（大阪産業大学）
- 1309 自転車の通行位置選択に関する研究 ―北九州市小倉都心部を例として―
藤川征樹（九州工業大学大学院）、寺町賢一（九州工業大学大学院）、
吉武哲信（九州工業大学大学院）

10月29日（日）研究発表Ⅱ

<第一会場> 防災・減災（9：00～11：40）

- 2101 無人航空機による三次元形状復元技術を活用した災害対策
松浦孝英（株式会社テラ・ラボ）
- 2102 多様な人材の登用による地域防災力向上の可能性
―自治体の地域政策との関係を踏まえて―
浅野幸子（専修大学）
- 2103 災害に対する自助・共助への住民行動に関する考察
―岐阜県における防災・減災プログラムを事例に―
高木郎義（岐阜大学）、東喜朗（岐阜大学）、三井栄（岐阜大学）、
杉浦聡志（岐阜大学）

- 2104 地域の防災・減災支援策に関する考察 ―岐阜県内における改善策の試行―
東喜朗（岐阜大学）、三井栄（岐阜大学）、高木郎義（岐阜大学）、
杉浦聡志（岐阜大学）
- 2105 大規模災害時に大学が市民等の避難所等となる際の課題
南博（北九州市立大学）、村江史年（北九州市立大学）
- 2106 自然災害と都市文化 ―岩手県釜石花街と東京八王子花街の芸の交流を中心に―
中原逸郎（京都楓錦会）
- 2107 災害復興における防災＝技術の適切さ
山田修司（東北大学）
- 2108 住民同士の関係が津波に避難に与える影響 ―いわき市平沼ノ内を事例に―
班目佳小里（福島工業高等専門学校）、松本行真（東北大学）、
杉山武史（福島工業高等専門学校）

<第二会場> 産業・都市経済（9：00～12：00）

- 2201 タイにおける産業クラスター機能の活用
小沢康英（神戸女子大学）
- 2202 群馬県太田市域における産業集積の振興方策に関する考察
―企業城下町型集積としての特色を踏まえて―
河藤佳彦（高崎経済大学）
- 2203 コンパクトシティにとって望ましい商業集積のあり方
―中活統計情報による都心商業集積の分析―
佐々木一彰（京都府立大学）、杉本直子（京都府立大学）
- 2204 中小製造事業所の取引空間の実態と成長プロセス
―大阪湾ベイエリアにおける実態調査より―
上田恵美子（尼崎地域産業活性化機構）
- 2205 近畿大都市圏の女性労働力率の地域差に関する考察
坂西明子（奈良県立大学）
- 2206 中核市におけるマラソンイベントの経済効果推計の意義と課題
藤本浩由（福山大学）、藤本倫史（福山大学）
- 2207 日本のソーシャルビジネスと公共調達制度に関する研究
坪井秀次（静岡県立大学大学院）、金川幸司（静岡県立大学大学院）
- 2208 連携中枢都市による「水平補完」と府県
外川伸一（山梨学院大学）、安藤克美（山梨県庁）
- 2209 在宅勤務型テレワークを対象とした地域間比較分析
佐藤彰男（龍谷大学）

<第三会場> 都市環境・住民意識（9：00～12：20）

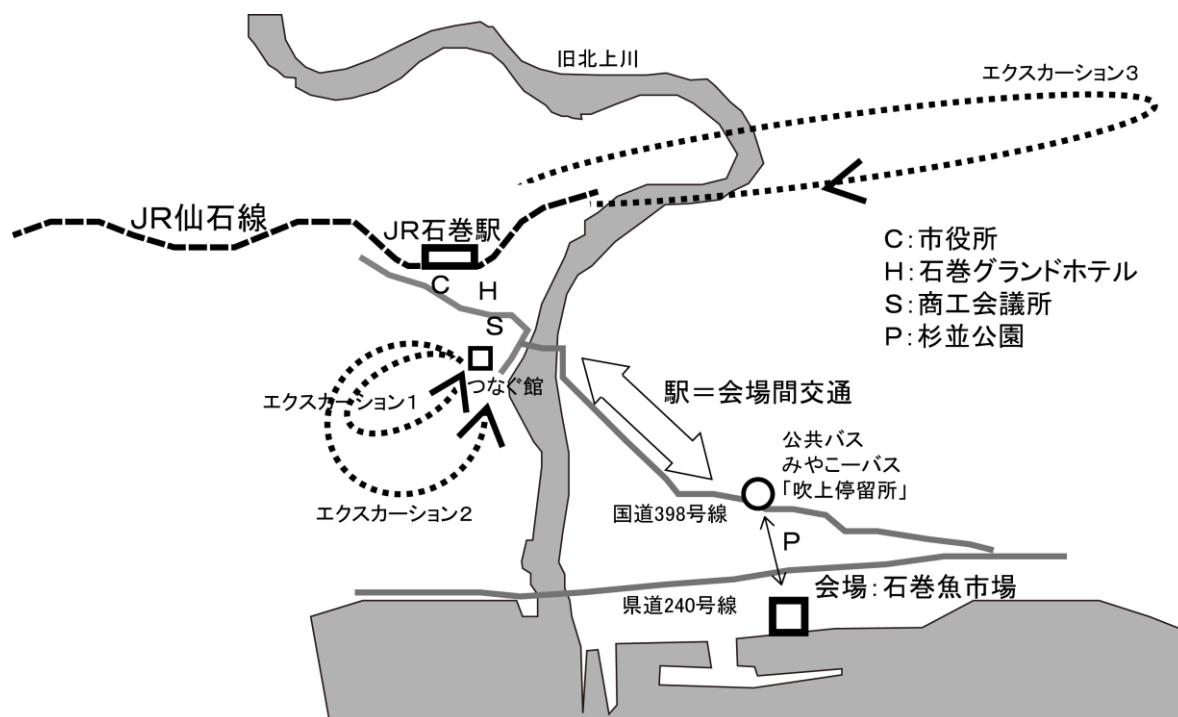
- 2301 奈良市における用途地域別小売店の立地変化
根田克彦（奈良教育大学）
- 2302 潜在的な Shared use P&R 施設の総合評価に関する研究
楊崢崢（九州大学大学院）、臼倉協（九州大学大学院）
- 2303 生涯活躍のまち（日本版 CCRC）構想に関する批判的考察
安藤克美（山梨県庁）、外川伸一（山梨学院大学）
- 2304 経済構造、港湾設備、交通基盤から見た港湾・背後圏の歴史的発展過程
林上（中部大学）

- 2305 都市鉄道計画についての住民意識に関する研究
—モンゴル国・ウランバートル市のゲル地区と集合住宅地区を中心に—
Baatarzorig Mandkhai (ポリテック・エイディディ)、外井哲志 (九州大学大学院)、
梶田佳孝 (東海大学)、金炳珍 (九州大学大学院)
- 2306 リニア中央新幹線駅と地域づくりに対する地域住民の意識に関する考察
—岐阜県恵那市を事例に—
三井栄 (岐阜大学)
- 2307 新幹線と地方都市の魅力 —九州新幹線を事例として—
大枝良直 (九州大学)
- 2308 都市構造の多極化に関する研究
青木勝一 (兵庫県ビジョン課)
- 2309 報道からみる相模原殺傷事件 —新聞記事に注目して—
阿部智恵子 (石川県立看護大学)
- 2310 ノーマライゼーションにおける障害者教育の研究
—行政資料における通級による指導—
増田金重 (リサーチプランナーズ)

■ 発表者への連絡

- (1) 発表時間は質疑応答を含めて 20 分です。
- (2) レジュメ・資料等を配布される方は、各自 50 部ご用意下さい。会場ではコピーは致しません。
- (3) 会場にはパソコンとプロジェクターをご用意しております。発表にパワーポイント等を使用される場合は、各分科会の開始時間の 15 分前までに、会場のパソコンに必要なファイルをコピーしておいて下さい。なお、パソコンはネットワークには接続されていません。ファイルは USB メモリにてご持参下さい。
- (4) ご自身のパソコンを使用される場合は、各分科会の開始時間の 15 分前までにプロジェクターとの接続を確認して下さい。また、念のため USB メモリでもファイルをご持参下さい。

■ 石巻大会全体地図



■ 会場までのアクセス

(1) 最寄駅までのアクセス

大会会場の最寄駅は仙石線石巻駅になります。最寄駅までのアクセスは、以下の経路を参考にしてください。

電車

- ・ 仙台駅—（仙石線）—石巻駅

高速バス

- ・ 東京駅—（JR バス）—仙台駅—（ミヤコー石巻バス）—石巻駅

自家用車

- ・ 東京—（東北道）—仙台南 I.C—（仙台南部道・三陸道）—石巻河南 I.C—石巻市
- ・ 青森—（東北道）—古川 I.C—（国道 108 号）—石巻市

飛行機

- ・ 仙台空港—（仙台空港アクセス線）—仙台駅—（仙石線）—石巻駅
- ・ 仙台空港—（仙台南部道・三陸道）—石巻河南 I.C—石巻市

(2) 石巻駅から会場までのアクセス

- ① ミヤコーバス（吹上バス停下車、徒歩約 13 分）
時刻表は石巻市のウェブサイト（<http://www.city.ishinomaki.lg.jp/cont/10053500/bus/20130322165030.html>）から確認して下さい。
- ② タクシー（会場までの所要時間は約 15 分、料金は 1,500～2,000 円程度）
- ③ 日本都市学会専用の送迎バス
※ 運行スケジュールは以下のとおりです。
※ 送迎バスは便数に限りがございます。送迎バスをご利用になる場合はお乗り遅れないようにご注意ください。

日本都市学会専用送迎バス運行スケジュール表

10 月 28 日（土）

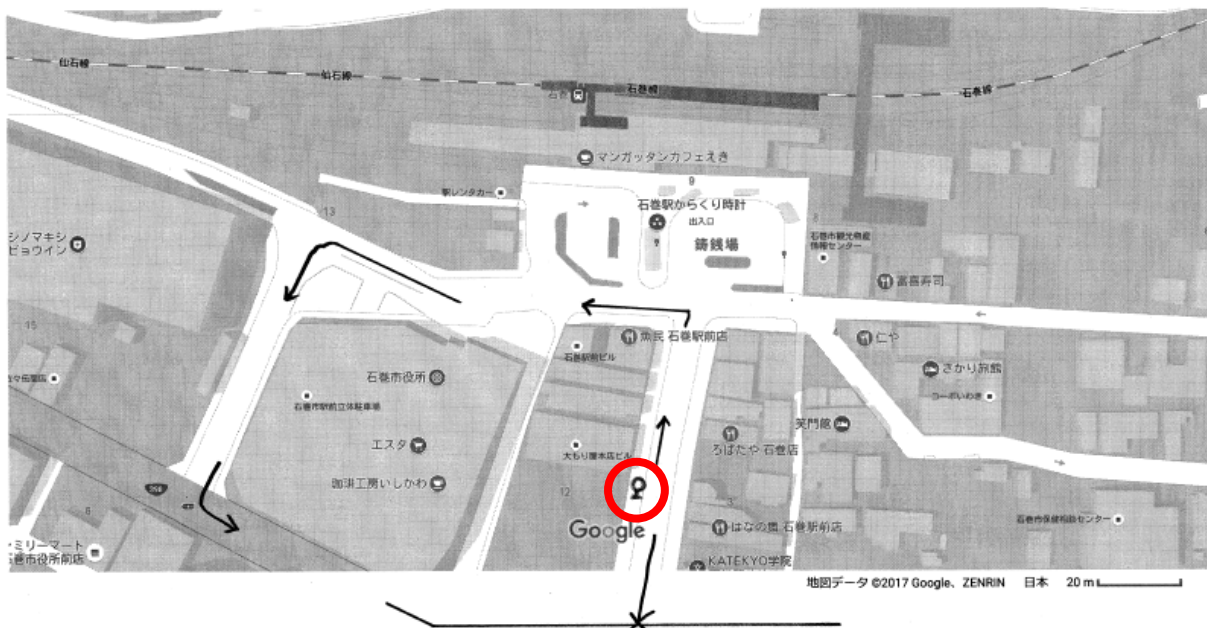
石巻駅発 8：00、8：30、9：00、12：30、13：00、18：15、18：45、20：45
魚市場発 8：15、8：45、12：15、12：45、18：00、18：30、20：30、21：00

10 月 29 日（日）

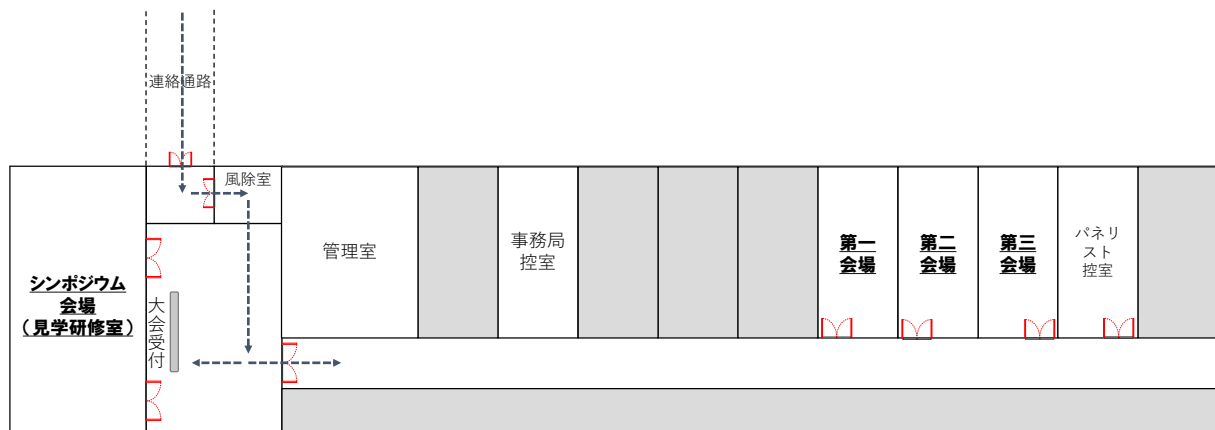
石巻駅発 8：00、8：30、9：00、12：55、13：25
魚市場発 8：15、8：45、12：40、13：10、14：45

■ 日本都市学会専用バス乗降場所（エクスカーション・および会場送迎）

- ※ 石巻駅から県道 6 号線を直進（徒歩約 2 分）、和食料理店「大もり屋」前
- ※ バス会社名：南三陸観光バス
- ※ ステッカー名：日本都市学会



■ 会場案内図



2 F 案内図

■ 宿泊について

石巻市内は宿泊施設が大変限られておりますので、宿泊施設については各自で早急に予約していただくことをお勧めします。

■ 問い合わせ先

東北都市学会 日本都市学会大会担当事務局
福島工業高等専門学校ビジネスコミュニケーション学科 田淵義英研究室

TEL: 0246-46-0857

Mail tabuchi@fukushima-nct.ac.jp

※ 大会当日の緊急連絡は「090-8107-5302」まで。

日本都市学会 本部事務局

〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学 根田克彦研究室内

TEL: 0742-27-9176

Mail: info@toshigaku.org

HP: <http://www.toshigaku.org/>

東北都市学会 日本都市学会大会担当事務局

〒970-8034 いわき市平上荒川字長尾 30

福島工業高等専門学校ビジネスコミュニケーション学科 田渕義英研究室内

TEL: 0246-46-0857

Mail: tabuchi@fukushima-nct.ac.jp